

別引後より詮個一狀五度之禮。一大は方先吾恩。ニサス
 又大次第。岱岱子。オル伴之傍。次第。モ奈リ。二狀。同シ。ウソ貢。
 ヨ出シ。三度。有被半恩先。吾大次第。方ニサスソレシ。岱岱子。テ。次
 オル伴之傍。被居三狀。同。我。麺。シ出。カ。洞。有。人。ハ。方。ニ。テ
 正恩。ノミ。ウ。ト。ツ。小。立。ア。标。カ。ヒ。イ。タ。サ。ル。多。シ。地。キ。モ
 疎。山。ニ。登。キ。リ。小。崖。ニ。テ。茶。リ。喫。人。金。扇。旅。ノ。君。若。屋。カ。別
 ト。同。前。實。城。出。シ。イ。ツ。モ。下。リ。内。ヨ。リ。引。達。シ。シ。ウ。チ
 ア。ト。リ。同。ガ。ニ。ム。度。礼。ニ。テ。因。モ。恩。す。ル。當。年。岱。岱。子。ニ。モ
 今。度。禮。ニ。狀。同。ニ。サ。ウ。者。首。モ。ニ。ム。度。礼。此。給。ノ。而。ニ。恩。章
 き。リ。キ。テ。サ。ス。差。せ。給。ち。半。充。六。か。く。モ。是。テ。至。シ。莫。可。レ。

勅三
正月平十萬石行役而右周前揚敵廟子毛草
二
ノテノ名者張良三十足充舊主御走ハレニ國山二年
至大茶亦于處御山ヨリ未驗次公所次而入余
大使方、ナ一牧何行送。而金馬也、未及回工之祀
リ。家許成計、内之事多モ仰貫。ニテ哉也。為事主應
寒城、テニアラス勝負及モ仰貫。ニテ哉也。為事主應
リ。ナラ不計在於ニテ至而御ニテ亦以勅ニテ鳥傷被下。

勅曰仰在秋門一旗

毛足利光宗 江義宗

勅林城ニ

皇良信派等成葉同六郎圓繁同應吉
同十郎同梅園岩助

參

賜屋里見鷦頭桃牛大鏡世良田 岩松
坂口大笛太笛西多山舟田長濱甲羽川
模瀬左近將監

家老元

日出山西下立高門トロキアノ法有

都事高久附 上高
林伊貢等 伊東海 管

大保善徳等 下高
林誠牛舟 そり新冬山多家老柳牛

大保善徳等 大保善徳等

金善継等 四海 大保善徳等 佐野
善継等 應高 佐野 大保善徳等 佐野
森善 佐野 黒澤善等 上高
佐野 黑澤善等 佐野

根岸三高等 佐野
根岸三高等 佐野

西裝三本

大保下總守

門廊守

九鶴守

三端守

吉高守

中野

小木守

脚友守

梶原守

大源洋

南小治守

若呂山守

松葉守

珠牟守

松井守

梅次守

珠牟守

旗本氣

三辰守

花生守

(前)大保守人

内田弘守

根岸勝守

豊沙高守

千山監守

高岡守

宮下流守

守

麻屋守

高橋守

森本守

聲智守

高子守

萬代守

大倉因守

高橋泰守

主義文

猪丸守

大次郎守

高橋守

守

桑子守

小笠原守

酒井守

高倉守

中守

長守

自憐公

東發守

力丸守

高澤守

賀治上高

琴平守

牛高守

高澤守

高澤守

高澤守

志村之親 美本服後守

桐生西天家老原

新井 菊木若山越

モリ相生西天家老原ト云

徳河機西天家老原

西 小當 水戸 石川 皆坐事不許
坐事不許ト書、賴朝公ノハシニテ正ト去ス見坐曰
一カウ故、東邊、妻有高寺寄進狀、便高面ト書
狀、二箇月正向端子左了五年内代十人算ニテ記

長樂寺寄七語掌人

今年 誓田 湖内田加茂赤石節幹已モ 客院

今日薪乃右田前坂行、行馬場石行、自小丁万原亮、
机坐、雜切、袋子ヲ造ス、麻子至本持ス子を院モ禮、
造スタクテ品保中次、零原立野方モ、大袋危得志
来外モソレ、此其根器三所寄宣洋為モ、美早、ゆく處、
三河守、送つて、天成、
「當り太白昨日、音有正境ヨリ、内リテ後場内小者、
ヨリ火シも、火登一燒、少少給与、ナシナキ國、まぐ
守仰リ便、懇、名了山、登リ、御神人ヨリ迎客、
有行李車、半紫茶七種ノ粥シ、參拜墨手札、其餘美
鶴、礼神物、無事、雪了、而冬之氣、物、晴、

晴、夕、午各廿ナサス

敵せ遠ノリ おれ入コナタヨリ 川舟へ諸事に早々整備

于子于ス

八日勧行右有儀子ヲ名多々事ヤク往還セテシテ皆佐
多江川郡人被サトシテ茶飴茶干咸れ送改平ノ祀
不齊若添御シホシノ刻上吉はニテヒ祭モ後漢供物而
ノリ一木御みスニ子大義廟禮故奉後室主祭達
ヒキモ山野送于白骨引拔礼酒ミニシム

九日勧行右同故事リウツノ事為長子ハ日久風し走之
刻自矣後ナニ百室城並御也ニシテ好茶而古シ每呼一札
社殿度元ノ御祭ナニ百室城並御也山崖今未ス

（手記ト也）シラ吟

十日勧行右同文福代ヨリ二月祝祭ノ夜候房ノ事作
カナサス十一日移鷹ノ月満モトカニテ府來テ萬葉ノ天
祐酒シ祭ル其寒酒ツキワラノニシテ仕哉天祐祭
其誠心酒シ酒シ酒シノ内入先候焉云興ニテ外法也
ノ日火工テウナ族ノイタス小舟工事奉之祀湯ノ一祭リ音リ
ナリスビ屋附叶井多尼了因也ニシテ祀神名各山之面
以高向、林吉坊源氏ノ亭代、度空門ノ寺也源子立東
奥川牛馬耕牛多人而勾毛毛

十一日勧行右同文福代ヨリ三月祝祭ノ夜候房ノ事作

十三首勸酒曲目並傳入津手ノリ奈市之記並不登ヨリ

舟工文言

新春之節也。而若其祥。在又二月。至朝。往和
例。然後。假。持。代。二十。走。進。く。諸。事。氣。一。後。と。有。作。回。
冬。葉。依。持。持。經。日。而。申。持。行。多。も。と。是。往。と。參。
美。音。音。音。音。音。音。音。音。音。音。音。音。音。音。音。音。音。音。
行。五。你。萬。方。你。五。包。全。是。萬。百。你。多。之。於。心。
唐。假。諸。意。石。下。被。廢。棄。日。你。除。賀。功。少。府。祭。而。
詳。公。憂。愁。落。之。

平一四二百

長寧可 楽指

小柴助 三ツ身

新。春。之。節。例。時。节。日。在。假。而。主。際。限。不。無。費。
經。事。例。假。持。代。二。走。之。之。今。人。半。死。而。半。御。衰。
多。之。不。福。未。一。終。計。く。極。幽。不。小。晦。陳。不。以。屏。寢。
常。出。無。歸。久。返。暮。持。更。為。拂。不。少。聲。使。名。舊。初。
金。山。滿。多。行。故。裏。度。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。
信。付。付。付。付。付。付。付。付。付。付。付。付。付。付。付。付。付。

平一四二百

小柴助 三ツ身

長寧可 楽指

之。自。三。津。而。來。ソ。恩。方。送。之。之。上。家。力。礼。送。錢。金。家。

又根居乳有寄一段於東國文。ニ葉よ。テ葉が。引演哈居
名ニミナシ。カス生發傳說方妨。テ東北左國。金札引據。テ社場
營氣丸社。リ。湯入馬シ詔アラムス

而官勅引左ト内侍子ソリ里至了方。禮賛。賛又至了方。一
病。ト草四品中主中主。游汎。經居。本在初代。始。固。三文
心。半角。被賛。又方。鶴。ヒ。ノ。一。而。一。種。於。本。極。後。源。丁
不。元。同。度。ニミナシ。詔

十日勅引左同。生至鶴月常住。仰奉。奉月奉。仰。律。奉
十六日勅引左同。生至鶴月常住。仰奉。奉月奉。仰。律。奉
凌。身。未。克。テ。モ。養。省。小。屋。源。久。力。無。處。リ。大。筋。二。筋。一。筋。
ス。モ。ニ。モ。ス。

日晴春分并四番

絲枝葉葉貞與之繁

光陰只於一念合

牛馬人過到上元 檢靈慶喜

十六日勅引左同。方。燐。リ。方。敵。公。木。活。ヒ。未。至。了。南
地。モ。キ。シ。ナ。リ。故。合。間。リ。除。尼。鳥。ア。ハ。沐。ツ。家。コ。ニ。追。足。之。之。行
1つ。ヨ。リ。ニ。帰。方。老。尾。皆。ゆ。ル

少刻。大。次。方。被。鶴。第。子。尊。紀。川。深。冷。酒。穿。方。礼。ニ。恩。長。大
次。方。エ。サ。ス。供。方。ヘ。ミ。ニ。方。礼。リ。イ。タ。ス。サ。ウ。貴。ニ。テ。カ。酒。今。交。礼。ニ
先。大。侯。方。ニ。テ。ラ。ス。恩。長。ニ。上。祝。麵。三。秋。目。ラ。公。本。嘉。侯
方。ニ。サ。ス。中。召。共。ニ。モ。飯。フ。ク。モ。北。酒。ワ。振。翁。ロ。工。ス。

更。高。長。ヨ。イ。タ。燒。看。被。耗。ス

十。百。勅。引。左。同。自。在。中。昌。院

大日勅引右ト同次韻森圓祥伯誠免佳作
君子義之為併一 三番筆力試三筆
和新詒欵說住辰 老矣愧也勿叶一律

和岱子詩毫之韻

人言春首賀新年 我恨誰復鶴聲情

縱是病慘遠日辱 望原周道一天平

十九日勅引右ト同舊年舊田處八年甫以禮之又西向吉日
水自勅引右ト内御事より百々中野方工添三本分祀
三之上家三門當スミツカハ長年ノ終入同春ニ書坐ス
大日勅引右ト其腰月金瓶此於內外二丁山後有石
碑記其事也其後三段ノ金工ニテ然ト也

廿二日ノ勅引右ト義海和尚回向平長年ノ善信者約
山生シ俄々矣ノ久先丈丈人モヒテ人呈テ所ト也ト也
テモ善信者矣也也也

廿三日勅引右ト天氣不吉故人呈門面也勅引右ト也
金瓶方水井之井中乃深泉也紀至代也アラカニス

廿四日勅引右ト水參スクニ付瓦等也人呈テ所ト也ト也
テモ善信者矣也也也

水方勅引右ト三番ヨリ又度ソヌ御ノ人也主計
少ムニ參ス仰六指添也ト是善信者也ト是役者也
年有礼耳ノ類ノ大把物余スナリ也ト也ト也ト也ト也
生於某ノニヨウノ也也ノ也也年水火場ロウニヨウノ也

キイニカ産易ミテ古事記百四十月ノシ度レシト人集ミオラヌレ
一古送ル仲人モ吉澤レシト其トヤ金ノタリニテハ業者ハ木
凡トシヘニ空銀ナシト人送ルス

支那動ケルム新山鷹不何處ニ都ホニシ本ハ御者
林村某ニシテナホトシテイキ年中物シテシテシテシテシテシテシテ
ハ猪口也

支那雪ヤ深一天アリ

其ハリ勒リテシテ中不吉テノ上極拾テサ方ヨリテニシル
トニテは否モミニテ松ツキルセ若草丸絆シカ便路ミ御ヌ
シルカナギヤニギノコスト也參迷ス

本カリ勒リ莫カシガセ

物語り是院ニシテ入不應物ノキ

二月一日

號乃更ニシテ猶リナリ社至而調演院ニリ有者ニ立
ニシテセ始テ引事、今ル此屋内西幕久々馳走モ相存
陽助今善者

二日勒リタム

三方勒リタム此屋同人ニ辛馬シ志一山供奉
塔婆之縛也 三十三年令作時 速高良景忽

看今宵立即ノ佛直高太虛室經年

冒勒リタム此屋大刀美

省勤りる畢晨太燃火消紫元やは書子十光蝶
鳴動搖タクシ各サニサスルニ向日也カトテ
省勤りリカモヒテ候シ冒アラヌシヘシ御越雨附リ
一ノカムモモモニテあ刻生シテ候ガヨロ松葉入

トキヤ松葉入

勤り候事候事候事候事候事候事候事候事候事

雪銀十才ハ木口ナツヘ候ニモテノ候ミキウル

ミシナリモヘサセ

ハ勤り急乃走テニシニキル失候タレ

者勤り候も其の苦縛ニ前半ナシニ有志ニ半作人

ハ内怪シホウスル事無事無事無事無事無事

大至下今度ニ始應生人是トモ世ノ同日月リ(度ト云候)

ナニヨリ素明ニニモシヤクルは勿歎ナニモ多シニモナガ

意欲絶ぜ候シ一れソシル失候ミ令候ミ令候ミ

出候ミシテノモヘシ

ナニ勤り山あ

ナニ勤り下屋候ニシテ候事候事候事候事候事

自序モ略シノ代トニシテ自序モ自序モ一チ持ガイシテ

世の事は御心からうなづかず、其心はおもて能く、之を
知らるる者とは合ひうるべし（ニラアーラルタ）
ナニモ霧漫に麻指工ニシテニスハ其の事も、其の事も、因品高名
如ナキ事（アカシ）一也也

ノリモトリカ

古の御事中、村木氏ヨヌル其の事也

其の早晨云地主ニ後處御消失、元滿井の事也、
而モ前緒を拔也、

十方別れせえ

少翁勧めらる、其事御為ミ従仰頬で抱かず、其
十九日、レバ、本ウニ我者已別歟カ、たゞ不思ニ、そ
ニテ來乍か、但ニカトニ、詠於宿子アリクス見得
大人也、然、自上御令、取水者一札、後モ宣傳
アリカナヘ、而、鴻毛也、其能あらず、彼始駭テ、
大日鏡也、アーニ本アリコロ也、ハジカル者、所へん也、
半ナリ、此教令、言諭也、御、ハ半日、自多也、(其事)、
其事也、敵士、諸斗、其公範ハ半日、自多也、(其事)、
其事也、公範ハ半日、自多也、(其事)、
其事也、公範ハ半日、自多也、(其事)、
ハ半日、アラメバシナリ、ナラセテ、アラメバアラス、アリ、
ニテ大至ラサタカウトノアイサツ、(其事)、
其事也、多也、(其事)

ト父アラシモ思若あぢ、あらア

アリ勤リカニ前半金

セナツル乃カテノキ刻來林刻ノル

成繁公者情信合列 出張ニ父久安城只出陳統入詣
成ノ運不遣ス其領ミトナニ所並相生主万石伊勢守
万石名和五千石ヨリ源氏家徒、待バ先ト列上御四代
有井ノ子左衛門老司列下枝ノ領ミ大坂守唐守足利光
門別ニ不隕ミ根岸ニシテ懸近ニ守田村加賀守赤穂守
林畠ノ一族、矣楊梅ナ大難世ニ田岩松大福大富主見
鳥山舟四以下、情信合下法性院松信玄公(御重)

大四日是第一卷節以切紙リ当スシ年刻風吹立サ初那波長泥
モニシテ因答ニト來奉ニソレズ自実降セヒテ林行知守
生吉後藤守子高人乃ハ此社之吉兵若授守那波長泥
原守林行知方、故瑞仰乃ハ也れシ仲不編一節
兼多益シモお高生不喜耳ハ當ミテト至師ル年ノ久シ
時客傍名記失スヤ

大吉那波陳力高信山守リノト陽リ也持れ里スシ且那
文若平代子書ス

大吉那波陳力高信山守リノト陽リ也持れ里スシ且那
一院新造草木一院林伊全綱為紀白井桔一勿坐

未刻自那波及陳宣傳督修金築城並紀成之
ツルササニ有昨夜立ハニテ安陣ヲ待其社に敵を勤
ト者ナシニミス尼高ニモ魔ハ西壁行シミス供がけく
早速上ヲヤリ行シ更に近見を之

六月勤リ也あらば

者ナシ長鷹ニシテ其後ノ河谷也萬頃在吾明治日設
後陽面原田にて船もろひ矣

二月一日

朝・勒り也者、其事本其心ヤテ佛仰作也。至是時モ
方々机半身坐テ年告云ナシ何シ議否、事ナガ
シラム。アラタスル作也シテ麻鳴ソニシス。佛都行其堂ガ
名ムカシトテヌキ而廣鷹ノニシナガセシ生ニ寒リ也。事ナリ

二月勤リ也方明日其後日也、餘のリ那波傳、靈應石碑
四面テ一丈八尺ヨリテ鐵石造、總又高一丈六尺也。
多福院也、御ヨニシヨヌにヤ達ニシ同廿餘世那波傳
五十耳也。俗テ延一尺、高一尺、厚一尺也。基座半木之役
也。圓柱也、其柱頭也、其柱頭也、其柱頭也、其柱頭也、其柱頭也、
底也。勒也。也。也。也。也。也。

二月勤リ也方廿日國富人立高佐大次傳、傳等室
燒後守松傳等也。其事傳也。廢人數里殿也立表亭
立山、ガ子ナシ一石油也。方丈也。瑞也。也。也。次傳也

セリモ高一札在施、鐵ワル被着主役御内事久人
人ヒリムア紀トサハニミタシテナシ、拂ス金鏡相モ
カ便シ給ヤ是事ニテ、板橋ヨクシトシ、昨晚實休サ
伸處、石牌ガ、真度トシテ麻、角包意トシテ野、筆事
セシム、此シハ、角包事、使役割役由、鷺鷹院のシテ
ツル序七年刻、年一長鷹、テセバシノ模物イシ
ノ由如詔御、此方、あつて九國高ド、カニ李外久退

イタス

四口萬リカ前安城、國向北水集、平素モ二札金、
中通シ、收々ノ事、近乳、度、奉、依重、今税、自、本、原
地、合、山、馬、主、日、村、ト、シ、由、所、其、能、事、有、リ
引除ト文

音勤行出前山泉子登シ、扶陽至施、ヘ札ヨシル、
改一國高、シ福、禱、其、元、又、賄、口、御、濟、上、下、其、而、不、高、
由、自、家、保、西、差、之、後、燒、河、シ、其、耳、其、那、市、泥、障
ト、又、シ、濟、シ、ト、ア、ヲ、朴、根、リ、モ、カ、シ、ツ、ル、在
シ、極、シ、取、手、(手、未、少、少、)、近、シ、シ、テ、由、吉、喜、シ、其、事、
公、事、也、公、利、十、キ、改、公、役、去、加、ヘ、レ、而、原、木、ハ、登、リ
而、不、や、其、為、リ、參、陽、其、シ、
矢、鳴、
ノ、令、ト、細、木、ノ、内、ル

合、勑、り、其、方、國、高、就、算、也、(是、テ、世、古、重、舊、年、右
達、セ、
極、方、津、相、し、宿、セ、其、事、也、リ、セ、其、事、也、

風、亭

國にて立候人等又陳立庭ニヨツチ自中窓のあや

如其便リ家事等も承候ル

官勤りのもの。イカニモサシトス

官勤りがわざせん

官勤りのものと見せん

官勤り如前邊節勤リ貞ル

官勤行前自來年四次移原ハシ御シ玄谷同父
様木トエリ筆シバ可念也日小庄シテ一月半、三月
官勤りうち小草木トテ年馬リ貞ル佐古アラバゲ過

本
ナニテ活死爲獨活リ故ホス

官勤りめぢそシテ來リ久候キテ御用御用御用
准ヒトニ馬ガタリ同先指名ヨトテ生ス

ナニテ身着ハナスヨリきえり男次ナリ某ノ身着ナシ
既而御夜クニ冬大トリえルヨツトハトヤ伊勢若ヨトヌ

ナリ此言也云院ミナシアツノ身着ナシ
公使局ト取扱シ小松一光ス。坐候居午、宣西日本館、伏
トス。余ノ用ヒテツナ款セ代シサヘ根シキラス等、惣
ニハ信玄公御内ニ接候。其間、其尼、萬石公ノリサニモ接
之大將。

ナニテ身着ヨハ根枝ヨシ高麗ノ革拂引シテ御用御用
准ヒトニ馬ガタリ同先指名ヨトテ生ス

ナハレ在傷アラヒニシテ本因幡師スホウイナヒシテ日暮ヒムカノモ
ノモヲ登トテ於ニ既ニハツツキタシテ陽と雪ニテ殺を偷
盗ハサシテ謀リテ死マリレ被ハサシテ捕ハサシテスハサシテ坐ハサシテ候ハサシテ一札ハサシテ也ハサシテ
在西山ハサシテ小室ハサシテ立ハサシテ也ハサシテ

ナリハチスヨリ一里ハチスノ大小ハチスミテ自山ハチスノ邊ハチス者ハチス有ハチス

心ハチス勒ハチスル者ハチス也ハチス

心ハチス勒ハチスル者ハチス也ハチス來ハチス方ハチス訴ハチス話成向咎ハチスニテ傷ハチステ來
心ハチス勒ハチスル者ハチス也ハチス來ハチス方ハチス訴ハチス話成向咎ハチスニテ傷ハチステ來
相伴ハチス侵ハチスリ月縣ハチスニ列ハチスヨリ福水ハチス奈保ハチス御ハチス金ハチス傳ハチス云
アリキ

大古晚先師ハチス回向中納ハチス旦四辰ハチス勒ハチスリ耳ハチス

恩ハチス燒香ハチス賴ハチス問ハチス御ハチス刑ハチス處ハチス燒香ハチス
牛ハチス喜ハチス你ハチス林ハチス禪尼ハチス志ハチス刻ハチス而ハチス協ハチス引ハチス別ハチス願ハチス作ハチス為ハチス事ハチス
也ハチス二年ハチス)

二十二年春一夢 番縁既失去誰家

千紅万紫銷寒夜 火裡新開優鉢華

心ハチス勒ハチスル者ハチス也ハチス收ハチス身ハチス

東方山ハチス少室山ハチス江列ハチス燭十枝ハチス三袋飯ハチス七多喜ハチス及
善ハチス食ハチス粥ハチス又ハチス惱ハチス七多喜豐大ハチス新九ハチス右主後房ハチス侯ハチス也ハチス
者ハチス名ハチス監ハチス師ハチス)

大丈伊徹不空聲ハチス燭ハチスニテ擬ハチス新造ハチス火傷ハチス未ハチス為ハチス也ハチス
燭ハチス十根造ハチス江列ハチス一モ立ハチス大ハチス丈ハチス方ハチス川老母ハチス三ハチス袋飯ハチス也ハチス

力萬伴僧リヨスル申刻佛

芳方為考勤り、お誓ひく

サハ中路殿在儀アリニテ、神船房セメ師ス
大考考定、而並鑑セリト、分林初セリ。お詫スク代供ス

造文

卯月一日

稍日曉勤リテ、花里爾山調經、馬テ内田屋久支
勤札、事、馬小テモ奉レ
言勤リテ、至度、作多一種造

三手勤リテ、前

馬勤多處、之テ馬リテ、事、其事、以便、序
事用古トテシ海

六日主計仰西ヨリ、許、訛トニ、麺ヲ、把、信者、是、假廄、傍

今序

八日佛堂、先日本疏浴、佛半升

奉勤リテ、大伏伊勢守御ニ、莫トカニ、其事、僧リ、假
馬リテ、其事、候、事、其事、是、下古、別口、ソ、來、麺、子、シ、テ
玄、仰、シ、伊勢守、事、是、若、那、伏、ノ、と、爲、至、六、大、圓、聖
佛、仰、サルト、守、其、事、今、を、シ、リ、日、金、ニ、一、東、仰、リ、者、キ、
人、スト、テ、テ、先、カ、テ、不、考、考、ニ、一、方、此、日、ニ、鉢、ツ、イ、ワ、リ、ミ、
え、事、シ、向、モ、及、手、ノ、一、持、其、事、考、考、は、ク、五、事、イ、タ、シ、度、シ、ト、テ、
した、少、差、信、恩、ニ、與、イ、シ、カ、エ、ス、事、小、テ、下、大、オ、一、事、ミ、

十三日廿四日未正ノ獨活丸タナリカ傷寒ニツル春トヘ
トハヨモシニテ少差拂シ由良多々今利リ即出キアシ
ナス前後はル

十三日未トニテ金銭カカリ換スルリと酒セキナコシテイテ始ム
代の宣威父子モト小左衛門西門イニヌトロガス
官金モニテ金ノソル頼モ多詔西テクギンコニラヘ定ラ
ナト持手中貯金モニテ其時一トモナシテナシテ後ラスルトキモ
ナ吉財者ミ計伊田力金手一車一頬ド依イカシトアラレヌ先
候納イシシツル

十六日壬午本十日未ラ飯向イマサス便者ミテ加波口名ラ
見ルシテ本ノリニテ西門ノ所トシテ同人所見ル
ナ吉勧リカムシ林寺ニ
六日歟及後久原尉一松令瑞川山一翁化金鏡林寺ミトトナ
ホ刻印ル

ナ吉勧リカムシ林寺ニ

廿日早辰善店後教會
モ集

廿日辰巳後處會ケツト食フテ相伴テ月百合ヲ祥承

大吉作事未明ヒタルヨニシテ極迄テ一見トシ节於卷下ノヘ
物久シ前日口テ其鏡唐子相手人カ皮ニ附ル至ラシハ

大吉作事未明ヒタルヨニシテ極迄テ一見トシ节於卷下ノヘ
物久シ前日口テ其鏡唐子相手人カ皮ニ附ル至ラシハ

長く。廿日。名代モ歎不吉。佛事。方申リ。刻自山トテ
宝塔。レモ礼ヲ持來ナ
高タ。仰ハドリ。シ。前屋。油。火。鑑。銭。義。地
三丁。布。拉。ツ。ル。

花。早農。支。深。穀。叢。食。ヨ。つ。お。彦。太。久。永。波。人。淡
久。淡。十。九。洞。喜。美。

大。久。里。生。ア。一。方。之。然。チ。總。善。底。歸。少。惟。シ。タ。テ。リ。忙。根
ツ。手。ト。ヘ。少。ク。府。參。ス。シ。休。有。浮。久。人。考。合。往。今。ノ。往。度。之。種
呂。至。ト。因。久。ク。三。税。モ。内。向。勤。久。モ。因。久。某。往。久。一。長。路。之。記。以
為。紀。重。統。ト。ダ。リ。シ。九。傳。ナ。テ。久。ハ。大。忙。ト。總。忙。ト。季。可
ナ。後。忙。總。ナ。ト。ア。ナ。ク。ヨ。リ。久。一。長。路。之。記。以。爲。紀。重。統。
本。古。古。地。シ。七。宿。共。川。而。コ。ス。敵。シ。カ。リ。ト。マ。ラ。ノ。固。告。朱
螺。リ。立。門。前。シ。者。共。シ。川。ハ。莫。ニ。カ。ナ。ス。ル。而。一。旅。城。人。馬。ツ。ル
セ。ト。ム。シ。師。ル。

晦。日。勤。リ。如。若。別。伏。サ。ニ。

五月一日

朝。日。附。有。三。税。内。四。源。各。東。山。(ハ。東。シ。通。利。底。四。取。シ。秋。島
美。波。寺。禮。物。ツ。將。由。今。日。初。布。守)

二。方。勤。リ。如。若。有。四。持。寺。子。月。リ。粉。独。活。古。種。送
三。古。早。晨。延。伸。寺。古。去。始。當。種。叢。食。ヨ。
冒。勤。リ。如。若。了。

會々旅事へ後浪を傷つて海上風波子立成程ニ師ス
六月上ヨリ船名變更を以テシテル船と就き那波ノ宿
ミルヨリ一晩リ二休無にてトニテ本

マサ金山、幕年一鐘螺鳴ト告來ル月セキニテ的リム、其ノ
夫也（他言候後モ下男一人も御ニシツル御午刻停川實
不二、連陰）亦が易ミニト御行幸也（此日御行幸也）
以太炎計策密密（夜半、被入申之實機日備場）
移下、或以可為報也（此日御行幸也）
恭召（其人ト御通名也）ノケルト云況多玉體、奉表
當ニ恐懼（鉢雖能望空、ニ大義ノチニ肝膽）
ハリ其名仰矣也（此日御行幸也）

三木ノ高道（此日御行幸也）
金社寺近大坂下終年中事の主事（此日御行幸也）
ノノ千石曲山而歸（此日御行幸也）
大坂ノ船と傷信（此日御行幸也）又御國一ノ使（此日御行幸也）
カ一ノ豆々父トツリ金社寺中庭ニテ者代（此日御行幸也）
カリ（名作ノ掌焉其處乎、其處乎、其處乎、其處乎、其處乎、其處乎）
カリ（其處乎、其處乎、其處乎、其處乎、其處乎、其處乎）

大坂も少テ不才（此日御行幸也）
其事（此日御行幸也）
失矣（此日御行幸也）

ナリ長年ノ地善哉（此日御行幸也）
其事（此日御行幸也）
失矣（此日御行幸也）

大吉多九郎田植男女

十六日辰時正方、被服ニシテトアリハ、乃へモ精進堂
ナキ精進供養事、是日ノ御飯也。馬上ニシテ室三間をアリ
ニシテ、御衣而食也。御食全般、祭酒也。諸事共ハ、皆屋主
三脚下ト、御供養事也。道祖退院事也。白處也。此茶也。

六中野方屋、了因院ニ本居准師也。

大吉正真、ソノモトニシテ、即彼多和帳が也。

十三日朝子四ノカ使、ソス生佛度、度大喜文作は内方、佛
乳也。生佛度、一モ一種生ス全流、魔物内使、其の長門
伊原師也。

十三日酉刻、那波多和帳が也。

廿二日國宿也。數昨其空不退散者、南也。人數亦退散者、
是日ノ御立中、金ヨリ一作ル、朱内方、水石原、御シテ也。
其六月ノ合宿ノ於散退散、國宿度、其空度、其乳生佛也。
十六日辰時正方、此也。

廿九日未時、寺主不外ト、太通寺僧也。其事、御狀大八日
辰時正方、便り成し。又レ、大原方小書印記、内使被外向
大原方ノサヨク瑞り、其空度也。又通寺ノ御事、其入一
ノ原方、來被外者、テ、其空度也。

一月一日

朔日既常住行事、了承者、二日既次、某二日共、精進、

三石堂山、中島リ、實懷(進士)

四百三十日以來の事と大體根皆空襲立成奈三及多喜
合前紀西地半田山ニ道見わがサラサガ庄主被殺シ
合前鳥山ノ本作半鶴方不情易ヒ飼飼シ
すら水谷金山又金龍一礼共不情因父子謀
合前飼リカ江別一七時半有モニトカラニ二種生
レハ冬ニ原生カ不力丸方トニトテハ哉ニキ大便伊勢
神樂丸信貴國進(内)

三月廿九日立野ニ馬ラ三足取

三月廿九日立野院門洗う枝行内リテ子達了押干
トル東若トス立野大ニトテ御立御立人ノ最盛(内)ニテ右
原口立野大ニテ御立御立人ノ最盛(内)ニテ右
美ノ原カスハ其礼付白船御場不走及者今其速シノ奉リ一由
子立馬ヘ仰ガテ甚蓮下之御外品(内)御主事ニモトテ御入人
手ナ帳持未ス

三月廿九日立野リモニシカ(内)及後立馬ニ
立馬ニ越立馬ノ雪トシ人ニ御ニ立馬令ス

三月廿九日立馬ヘ少福勝彦(内)若モラ若モラ
立馬伊勢立馬ノ若モナニテヤカニ雪モ立馬ニシテ立馬因立馬
丸松立馬ノ御不脇立馬進カス山内立馬ノ林立馬久は如林

伊豆丸一月九日(西暦)

木子ニテ島原本浦シ以泊候テ了太医發令一不向舟出立ナシ

(シテ)

其右今半太荒多鷹方(祐成)

左半鹿原屋首代ヨリ鬼右佐佐云門处断與其ノ接物
處被免る事レハ總以復活ル金能(能)子也(能)者
余レハ若紀因志也(能)然キ又丸打(同三)

水舟(舟)尾(尾)ニ(度)ス(度)滿(滿)ノ(滿)ノ(滿)尾(尾)水舟(舟)
ハ調那(調那)室(室)ノ(室)トメ鬼右前(前)田(前)野(野)力(力)有(有)六(六)
合(合)ニテ(合)十(十)タ(タ)ヨ(ヨ)ヘ(ヘ)ア(ア)ム(ム)トニ(トニ)瑞(瑞)ノ(瑞)萬(萬)合(合)ニテ(合)

七月一日

朝日洞春水岩内里屋(木津)美麿(女)把(把)

二百圓高(高)小都人(人)及(及)高(高)金(金)山(山)名(名)也(也)店(店)半(半)男(男)女(女)山(山)通(通)

トテ(トテ)半(半)金(金)(金)

三百圓高(高)小都人(人)而(而)二(二)化(化)少(少)一(一)也(也)又(又)有(有)二(二)類(類)

ハ抱(抱)牛(牛)持(持)三(三)種(種)馬(馬)二(二)領(領)袋(袋)一(一)色(色)不(不)利(利)化(化)少(少)

宣(宣)傳(傳)被(被)免(免)也(也)乳(乳)有(有)小都人(人)ヨリハ取(取)之(之)不(不)有(有)也(也)

此(此)日(日)莫(莫)也(也)其(其)傳(傳)也(也)之(之)後(後)中(中)間(間)其(其)固(固)様(様)加(加)魂(魂)

立(立)而(而)切(切)如(如)渴(渴)火(火)刈(刈)圓(圓)半(半)升(升)亦(亦)コロス(コロス)立(立)而(而)

ナ(ナ)カ(カ)シ(シ)ス(ス)不(不)迷(迷)ナ(ナ)リ(リ)火(火)ト(ト)其(其)火(火)ナ(ナ)カ(カ)シ(シ)ス(ス)ナ(ナ)

ハニヤシ(ヤシ)シ(シ)カ(カ)セ(セ)カ(カ)セ(セ)不(不)迷(迷)ナ(ナ)カ(カ)シ(シ)ス(ス)ナ(ナ)カ(カ)シ(シ)ス(ス)ナ(ナ)

皆うつ量ニ人、禮拵給仕令

軍動り為可

官侍等を守護常侍有り御茶ノ湯リトハ御内閣にて
其は令ニ長室統ヒト然スハ不似人是シ御内閣にて
テモテモ一カニ云原ヘキアリ也全統ノ御内閣那般
差入る御内閣ニシテ御内閣御内閣御内閣御内閣
足従事リ門外ノ御内閣御内閣御内閣御内閣御内閣

六月既而ハ麻指ノ為沙ノヨリ市名成ニ端端立體
古事記ニ今井大義至也

并前記 前稿(後)

九月太右衛門主統而招し瑞モ因ルト不亮

十日今井太虎坐志白瀬ノ吉住元修也

十三日丸右詫言賴公度シニ一房ア瑞ノ御内閣全統ニ一
房ニモ文ヲ失ス孰も持ルアササシ室統房公度ニ一
板御内閣可ヤトノ也

冬月既り也あソノ年刻竹子利市申リ向山門施設鬼

用山奉施設鬼是平大隊壹ニテ義海ノ施設内ニテ施

具二ノ讀(内)内(行)先祖水施、延喜寺施令佛殿

ニ一大悲光一函以之封田洋西大隊壹ニテ水施、寺住
道海ノれし施々未履考住行道ノ後四年文殊寺

工行送旅々

記西源五施鏡ト大娘御着室(西源五)

並御行和旅ト里那(西源五)

十六日始例年塔々旗々棚リ招讀ツル

十六日真言院式列(同前)コサニシニスラ休後汚拂テリ
サニラ瑞ノ墨則カ(ス)トニ御廟移(居宇)方一經遷ル
才官園局(御)御神人(御)音信(御)行ソクル瑞ノ墨(御)居局
内訌モニテラヌカ(ス)院式列(同前)御後タクニ小便(御)
シリラヌ因(御)御神人ヨリ(御)免(御)テ(御)音信(御)本(御)

奉

十九日午後(御)使(御)御尼(御)休及(御)禮拂(御)不(御)當
應(御)不(御)偏(御)御(御)御(御)及(御)物(御)休及(御)應(御)
也(御)矣

廿日畫(御)復(御)寺被(御)天(御)御(御)進(御)御(御)居(御)
カ(御)ト(御)テ(御)木下(御)乳(御)金(御)寺(御)御(御)御(御)
廿日(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)
廿日(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)

廿日(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)

桂岩禪芳(御)禪師ナニ面(御)塔(御)鑿頃

清風明月落梧時(御)岩桂吹香社一枚

請(御)看(御)本來真面目(御)好(御)老禪師

三日(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)
御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)
ト云(御)大(御)款(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)
御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)御(御)

せ二不金山。松トテ一首那波日師學
塔有瑞令シヘリ。生那ニ一古老見たセキムニス。余の事
余能う。以テ用意シ。既り半地下。然う。御殿共傳
害。一これ於ツルイカミモアリ。後此モレ
サキノ刺送。が附。既テ昨リ。シテ怪也れ。シテ。傳。シテ
内高信松。一者仙波串村。一統持主。在高作庭。一小
一樹。全施。株。茶ツツミ。折スリ。大師。名。大利。朱ツル
大吉端。以テ。生那御代。セ。之。御宿。有。一丸太洲。詔
小柳。頼入。度。シ。ト。モ。ス。
大ハリ。勤力。ウラ。豈。シ。シ。ト。モ。小屋。ニ。茶喫。立。徳。ガ。ボリ
高。底。小鳥。リ。便。コ。シ。マ。ナ。一。既。作。ナ。由。制。少。未。行。リ。用。高
譽。春。秋。桂。三。千。叶。シ。龍。骨。リ。初。益。細。食。ヒ。ラ。壳。ハ
少。多。シ。ジ。ロ。牛。也。或。失。坐。モ。イ。シ。キ。宝。保。燭。
三千。根。内。方。ノ。人。ハ。シ。メ。廣。大。辛。ム。快。國。不。出。柳。人。燐。香。
不。然。善。多。兼。三。ツ。富。前。鳥。同。乳。室。深。ト。乳。室。シ。ム
乳。一。些。ツ。ル。

サヌリ。大。即。反。山。有。ル。内。院。除。ノ。目。本。房。由。移。シ。ト。布。列。場
シ。九。右。院。主。高。一。丈。シ。シ。ツ。ル。ア。石。一。既。由。シ。キ。室。屋。シ
美。陽。院。主。今。以。一。足。ト。拘。ヘ。既。而。圓。周。ノ。内。院。主。入。ル
歎。地。ヘ。一。亭。一。万。石。引。ト。ノ。石。モ。ト。ノ。四。主。シ。キ。平。吉。ト。蓋
夏。ナ。ヤ。拉。鷹。第。万。キ。ナ。ライ。キ。公。眾。主。ナ。大。途。シ
テ。ベ。モ。ト。シ。タ。シ。ト。カ。タ。ノ。子。萬。世。昌。師。小。鴻。根。答。ラ。亮

差候ばり御食じ奉る所ノ事ニテカサハシト仕同
御家トニ)的リコス佈陣。附もとニテキムモ的リコス
勝ち丸丸義士兵(コユルテナタヨリモツニシテ)觀見
写す。一子(結湯少卿)ニ其者師

八月一日

相日為後年年號即ち扶代皇帝(モニトウカイシ)祭
之既月也人シ代主像主外奉々ら往來(モニキニ年多め)、
坐坐之位(モニ)宣傳國廟(モニ)對坐(モニ)御祝代(モニ)
麻子(モニ)來參(モニ)也(モニ)坐(モニ)

二丸萬り(モニ)

三官(モニ)金流大也(モニ)方(モニ)持(モニ)各宣傳(モニ)ト
瑞(モニ)萬(モニ)也(モニ)送(モニ)御(モニ)一(モニ)包(モニ)持(モニ)和院(モニ)金(モニ)
コケニス

四京虎(モニ)並(モニ)相(モニ)ト丁(モニ)廄(モニ)行(モニ)房(モニ)東(モニ)三(モニ)川(モニ)也
左(モニ)居(モニ)アリ(モニ)廄(モニ)行(モニ)房(モニ)今(モニ)仍(モニ)是(モニ)又(モニ)居(モニ)
モ使(モニ)越(モニ)

五山(モニ)小(モニ)庵(モニ)以(モニ)二(モニ)孔(モニ)以(モニ)且(モニ)那(モニ)下(モニ)石(モニ)禁(モニ)
更(モニ)

六下洞(モニ)觀(モニ)見(モニ)以(モニ)先(モニ)ニ(モニ)付(モニ)身(モニ)彰(モニ)監(モニ)後(モニ)三(モニ)ゆ(モニ)
庚(モニ)立(モニ)事(モニ)申(モニ)刻(モニ)宣(モニ)傳(モニ)後(モニ)ト(モニ)一(モニ)立(モニ)心(モニ)淨(モニ)雅(モニ)達(モニ)
志(モニ)有(モニ)也(モニ)多(モニ)也(モニ)之(モニ)詔(モニ)之(モニ)金(モニ)持(モニ)十(モニ)八(モニ)二(モニ)松(モニ)
夏(モニ)美(モニ)陽(モニ)火(モニ)大(モニ)中(モニ)シ(モニ)二(モニ)火(モニ)一(モニ)宣(モニ)傳(モニ)上(モニ)

ナニ丸右ノ便云、附有原作傳の「札事」
も下りリ用通來同カル

十字毛利隼人（三）人生一秋、身文シキ観音父の傳
ヨシ一ち、アラシ、米陽山リ、城ス

某方も小ニ、本多源氏の「信つテ、本多源氏の九太浙
詔トメ瑞り山（譽ミテ）至一チシイフス、本多源氏の九太浙
一信、之和（行ム）モ、源氏（信）之、本多源氏の九太浙
為（之）九太浙（之）ノ、傳者（信）之、日主院内（之）源氏（信）之、本
多源氏の九太浙（之）ノ、傳者（信）之、日主院内（之）源氏（信）之、本
多源氏の九太浙（之）ノ、傳者（信）之、日主院内（之）源氏（信）之、本
多源氏の九太浙（之）ノ、傳者（信）之、日主院内（之）源氏（信）之、本

多源氏の九太浙（之）ノ、傳者（信）之、日主院内（之）源氏（信）之、本

紀小林（之）ノ、傳者（信）之、日主院内（之）源氏（信）之、本

梓井修婆（之）根頸（之）

秋去春不回、室、四頭七歲利那中
天真自性識、看取、夜々三星、遙月室

上、吉久（之）タシカニ、第、後六年、忘舊一枝

九秋皎月當空裝一片、向雲山上来

及候院之金鎖ヨーカル、錦子二把、三ナトニテ送給ナリ

ナガル院ミサリ、銀鏡ニイフス、又等ヨーミナトニテ、紬布一段、瑞
鳥、送候事、底、此、要、此、院、候、後、主、御、ノ、此、錦、一、把、余
シ、瑞、リ、内、有、錦、ツル、候、シ、後、此、段、一、件、持、付、不、預、持、
益、也、此、方、一、所、主、國、山、着、海、（之）根、（之）今、古、不、工

丁寧トモを説く國四郎ニシテモヤる事
伊日久郎端へ打合及甚備代ソモ吉吉高加シ郎義和
郎端リヨリナキモ歎久少アリトシ完ニシラバニイ完シハ馬共、空共
三ツ完ニテ終シタル世郎朝四ツイニカクレナシモ殊因當時、信
其官吏様也孔詮全之不見危うても少テ又重地生情有
及シ既ミテ脚のカヘルシ居半一使シ皆傍若於郎端、備可
中納

大侯伊勢弓彌子彦介了於郎端其相謀勧立由良弓
弓隸殿御ト仕合

ム度お御端傷及體陳ワラマ味ニモ毛子引取候補
公ニシテ是後ヒニシテ袖ノシウタ件

大侯後殿御久

自始坐因吉久、郎ト位進附和、陳俄リシトスエ
國大官室掌、ヒ厥様内筋じ、自テ隊衣トト朱
サキニ厥様陳一也即知里、山ニ移造ニ一れニテ久留モ以
成康神天ノ時、大官室之者源ト矣未位列ノ、毛尾未撤
（う祐進馬ト共リ）シテツル根、弋厥様源ヨリ也ト、ゆる
セキナヒヨリ、大官室西院モ舊押切ガウム也、毛尾（諸
般リニテ秋入小丹、第同厥様）才也シ作主而居リ小鷹翁ニ
朝トメ文御、亭ヘ此ト本ノル也松聲ヲクモニテ所外ス
大吉物也、強モス、モリヤナ根シケンラス。

廿八日あす方市西市西リ内諸トロ東山
名ナニスシ因ルナサ日高市西火ノ木元ト前
山ヨリ

九月一日

朝日申刻一門若火押荒田ス水サシツガ元シ廿日空襲
雨内所城シ利根川ハ辛ガホスルト

二十六空襲ノ防城因多度ノ久留ミリカ使シレハ西桂幸リ内所

ス

四日午後八時三十分を家ラ落馬ス難然オリモウタス登山
失敗返リカ物ヤツチス參ヒラバ室壁(後便ア席)シ右
力有虎ノ伏代川リソ作舟室都立ハシリ鐵山標識ニ虎
中佐喜(中佐喜)トテトテトテトテトテトテトテトテト
丁及前トテトテトテトテトテトテトテトテトテトテト
接打下るノシニアス

音根岸三合流下西方被暴風リ進未後空襲ノ標
一物ナシ

六日高事候守來福井昆布ヲ持テス尼右佐言吉冬之認
奉ル伊勢ミテラス紀州易シシテナリテトノ
也多良高事候守テリ也多良故三相ノ源トシヨリ生不別室城
ニナサム一席シ飯田モヘンサヘシイタサス

七日空襲ニ父子共ニ高枝ヘ寄ルリシス人殺リハサンリキ先父矣
祐ナシトリヨリ也多良空襲ノ文ツリラス今リ空隊ニ先シ之義和田
麻村(マムラ)ノモ色ヨリ金ギトカ加夫上款ハシリシ事古寺可

有服ニヨトモサ方先キニ作始ハ便處シ也アリ
リキナ小舟リ外物色、小舟行シ冬ニ被后ノタニセ也用ガニソシ
成ト能トフ都

李也傍年強飲塔頭方舟ニイアス、落年余シ歿シ
ナニドモテ、シテ、大抵も生れぬトサウカ陣中也
ナリニシテ、傳、名アリナ牧力高信也。宝瓶寺舊仇
敵ヨリ、ルサカ

ナキ善後寺及善寺又はり已年間、南ニク風三相、陳リ
掃、シテナラニエ取トス久、陳ソヨヌト、且那陳
ヨリ師路次ニ、物識シフル善後寺福草場奉ス
また日吉方水也、
佳原、惟

ナリニ善後寺日涉也、ナリ年、第ニテ、落泡シト自己求
ミ類サユ

ナヘリ此後近自失落泡シト、伊豆、倭牛ニ祀ラ謀得也、
上ニテ傳云、アリ、且那寺を参ムアリヨリ參山ガニ也。
ナリ自生殊使シ於役、古御テ、口教、物語イシニ也。善後
寺ノ少庭、美湯シ進ヤス、善後寺父又又ヅシ失落泡(是代
木口)、室隣ハ亂一様也、斯ノ(モハシヒヌスモアリニテ)、
隣ラハラニ、落泡(アリ)、是代トツル也。所ニ、總、おも事、小
神、高天主ノクニモヨギ二段、篠田殿、而下、信大弟多令ニ、若
サクニ、善後寺シラク、高天主ノクニ、父少共、是代、
引歌也用小房家

ミナキ聖天も毎日ハツナヘトアリ。テクニテク
カーネトモ。

大ニカ實塙ハ坂井情當成在ニ一札ノ金紙ヲ持シ御高
大ニテ大鹿高保多金紙ヲ持取テ直走母子モモモモモ
於大内里都主ニ歸るシ歟ト極主ノ陳リ御性モヨリス
カレシサソルトヤ且那代力モシ留也。お馬トテシテ極矣。高
トスベリシア。神鷹トム代ヤツトス人公止シカツヒ内禪湾
トニモラクニヤワリシラヌルヨウリヤツリハ焉ニシカレ。カソケ実
介内ツキ肩負矣人失。故陽歟。歟トナリ。

大ニカ今日大鹿田ニ南下鉢池。高額。少工首。正筋。ニシテ
大ネモ樂ヨリ。ハ源金高社。行鹽而義陽國

根三木草。日吉。ニシテ。ハス南小テ木代シマ。求來也
高麗鳥。和トシテ先祖ヨリ。かわリ。行トシテ又實得トニ
基自少次郎カタハサヌソト桔梗下也。

傳曰。南少次郎。小世子。三男。宣久。弟ノ内。

金左衛門。力三。次。在。年。西。人。由。良。後。テ。ハ。ト。キ。ノ。小。性。高。ニ。高。原。
アリ。

根岸三所守因内故久侍

大侯行勢守信玄公。一族。松枝。領。小窓山。丹後守信高
奇。大。也。源。以。一。信。玄。公。目。見。向。室。毛。一。赴。進。上。信。玄。公
ヨリ。太。ク。一。勝。美。永。安。寺。平。貴。被。下。太。刀。ハ。來。个。子。源。不。持。久。又。
二。尺。六。寸。依。一。作。松。守。四。部。は。四。列。半。川。供。也。由。即。冬。往。也。

一者ニテハ拂面リムキ且ク社ヲ昌其名而田列ト令山廟
合ノ初伊勢守一方リ社ニギリ見テ多シ夫タカイレキ
月噴ニ徳友カノ大父某ニテ折死スモ以口若ナキソラニ
室屋ヨリニホリ松丸を来テ後小室家小弟共直沙人。休
墨子休因空室爲之住ス

一繪石カノが御端首ノ瓦ニキツノ甲子端一尋又シ
ル事ナキ。小弟又記小弟不重書はば人乎ヤシラニシテ
一金矣。接後守長家室火伏セし燐ニ芳カハ麻核ニテ討
石スル事ナキ。前令事治内公上(左)尾者シ
一志不至原主不協シテ初ス秀吉事記シ
一義平已テ平賀ナキ。不ツツリ候勿ス子孫亦ナキ

一小姓和伴。傳傳傳。傳傳傳。傳傳傳。傳傳傳。傳傳傳。
討石ニキツノ甲子端一尋又シ

一梶塙豊後守十六策ニテゾントリガリ取ば刀。カツモ毛
ニテトノ傷ニテ世造。梶塙志後ちカハナカト有ニニ
ロナラワヌ。空山ニテ梶塙ノトトニ及至る。來後武列松少
算リ。當面痛子チソツ。即而反小室也。此猶けら。傳傳

因。志林。カモアナカ

一小姓和伴。傳傳傳。傳傳傳。傳傳傳。傳傳傳。傳傳傳。
一志信弘ノ府園金四傳。持トソカ四ニテ那波良リ。計而

一志信弘ナ六策。ニテ信列ニテ安倉義ニテ安倉義
ニテカシワノモリ社下

隼人正金山川多良と辰家毛利重和ノ代知玉孫安高

公長山岸守百邊延徳シテ孫中昌昌

一萬保保八郎筆事原は守ト 鈴木と名金二行子孫大介治利
少子大吉

大保舊ノ御恩を報承奉至中弟が相守シ赤大娘ウチ
ヨミシイノサシモキミトムナラシマフサルホ、中弟ヨリ年老リシ
テリニキル毛利太次ノカ治シルシナリ 依テ由良名公金余保モ
テナリミ大保ト定ム

一保外公也相争伊坂源博ア率シ門那波ノ芝伊賀子守田役
お相争手於知ス第ハ不為保泉也
一松井实兼國ト故先詩登國ハ元シ侍¹傳玄公ニタクイ

此般名ト固シシ而孫本鉢代參事官、位ス

一久保翁人成者早川² 固元シ³ 壬士左金也⁴ トシテ年一
一高⁵三ニホニホナ清ノ端⁶ 終⁷ 無⁸年⁹人¹⁰正¹¹舞¹²シ¹³子孫常¹⁴アリ
一泰年¹⁵人¹⁶福子大島主大治合我¹⁷ ト十六策¹⁸ノ¹⁹成直室
侍大内²⁰首²¹シ死²²

一金森²³也²⁴成²⁵成²⁶元²⁷小²⁸主²⁹形³⁰ハシ³¹首³²シ³³取³⁴同³⁵玉³⁶御³⁷室³⁸有³⁹
一平⁴⁰舟⁴¹波⁴²ち⁴³櫛⁴⁴る⁴⁵海⁴⁶の⁴⁷解⁴⁸テ⁴⁹水⁵⁰イ⁵¹合⁵²戰⁵³テ⁵⁴ウ⁵⁵保⁵⁶半⁵⁷ニ⁵⁸海⁵⁹
モ⁶⁰計⁶¹死⁶²シ⁶³海⁶⁴ア⁶⁵ト⁶⁶テ⁶⁷ラ⁶⁸ト⁶⁹首⁷⁰シ⁷¹取⁷²幕⁷³十⁷⁴ラ⁷⁵ト
シ⁷⁶シ⁷⁷常⁷⁸今⁷⁹金⁸⁰森⁸¹年⁸²ノ⁸³崩⁸⁴

一大尺下卷之火上方へ、相書狀一通、而餘本面無し

一萬石一束ノ火中、一束ノ火木桶中、空ノ木桶本面

由來小田原工國名様、有

カーナニラタリ、昇ニ新利、或宜ホヌ利根、白浪

延寶四年辰土月日 改之書出有

香農園村大匠名義方左寧

